

大規模災害に備えて 災害対策用機械の操作訓練実施

四国は災害多発地域である上、近年、異常気象による大規模災害が各所で発生しています。また、今後30年以内に南海地震は60%程度、東南海地震は70%程度の確率で発生すると評価されています。^{注)}

必ず発生する大災害に備え、四国地方整備局 松山・大洲河川国道事務所
所で保有している災害対策用機械や情報通信システムの操作訓練を重信川
河川敷で行います。

注) 地震調査研究推進本部事務局（文部科学省研究開発局地震・防災研究課）
の長期評価（算定基準日平成24年1月1日）による

・実施年月日

平成24年5月29日（火）9：00～12：00

※大雨等の場合は中止します。

・実施場所

「〈資料－1〉操作訓練実施場所」参照
重信川河川敷〔松山自動車道高架橋付近〕

・訓練参加者

愛媛県内自治体職員、関連土木業者（維持業者）及び国土交通省職員
など70名程度。

・訓練対象機械

「〈資料－2〉災害対策用機械概要」参照

- | | |
|---------|------------------|
| ① 対策本部車 | ⑤ 遠隔操縦バックホウ |
| ② 待機支援車 | ⑥ 衛星通信車 |
| ③ 標識車 | ⑦ 衛星小型画像伝送装置 |
| ④ 照明車 | ⑧ 災害対策用機械の各種搭載機器 |

関連ホームページURL：<http://www.skr.mlit.go.jp/yongi/duties/center/center-f.html>

平成24年5月23日
国土交通省四国地方整備局
松山河川国道事務所

問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 松山河川国道事務所

TEL 089-972-0034（代表）

事業対策官 川田 昭彦

○ 防災課長 松浦 博司

○：主な問い合わせ先

<災害対策機械の操作訓練について>

1. はじめに

四国地方整備局では、万一の災害に備えて災害対策用機械や情報通信システムを保有していますが、それらの機器を災害発生時に迅速・円滑に操作・運用できる体制を維持すべく訓練を実施します。

本訓練は四国地方整備局管内を3ブロック（香川・徳島地区、愛媛地区、高知地区）に分けて毎年実施しているもので、松山河川国道事務所は愛媛地区の事務局をしています。

2. 目的

この操作訓練は、当地整が保有する機械・システム等を、職員や維持業者が緊急時に自ら運転操作して対応ができるように、あるいは地方自治体が管理する施設が被災した場合において、自治体職員自ら操作できるようにすることを目的として災害が多発する梅雨入り前に実施するものです。（平成9年度から毎年実施）

3. 実施年月日・日程及び実施内容

平成24年5月29日（火）〔自治体職員、維持業者、国土交通省職員対象〕

〔	9:00～	9:05	開会の挨拶
	9:05～	9:10	訓練の全体説明
	9:10～	11:45	実地操作訓練
	11:45～	12:00	アンケート記入・閉会

4. 実施場所（別図参照）

重信川河川敷（右岸側8 km 付近の松山自動車道橋梁付近）

5. 訓練対象者

訓練には、愛媛県内自治体職員のほか、維持業者、国土交通省職員の災害時における現地対応者等が参加します。

- | | | |
|----------|--|-------|
| ・自治体職員 | ：災害対応の河川・道路技術系職員 | 10名程度 |
| ・維持業者 | ：災害対応の河川・道路維持業者 | 20名程度 |
| ・国土交通省職員 | ：松山・大洲・野村・山鳥坂・松山港湾各事務所の
異常気象時に現場対応する職員等 | 40名程度 |

6. 訓練内容

各々の災害対策用機械について、操作要領に基づいた設置・撤収や情報通信機器等の接続・通信を行うとともに、主要機能や装備品の把握、操作・利用方法について、数班に分かれて訓練を実施します。

7. 対象機械

(災害対策用機械)

- | | |
|------------|----------------------|
| ①対策本部車 | 1台 (松山河川国道保有) |
| ②待機支援車 | 2台 (松山河川国道、大洲河川国道保有) |
| ③標識車 | 2台 (松山河川国道、大洲河川国道保有) |
| ④照明車 | 2台 (松山河川国道保有) |
| ⑤遠隔操縦バックホウ | 1台 (四国技術事務所) |

(情報通信システム)

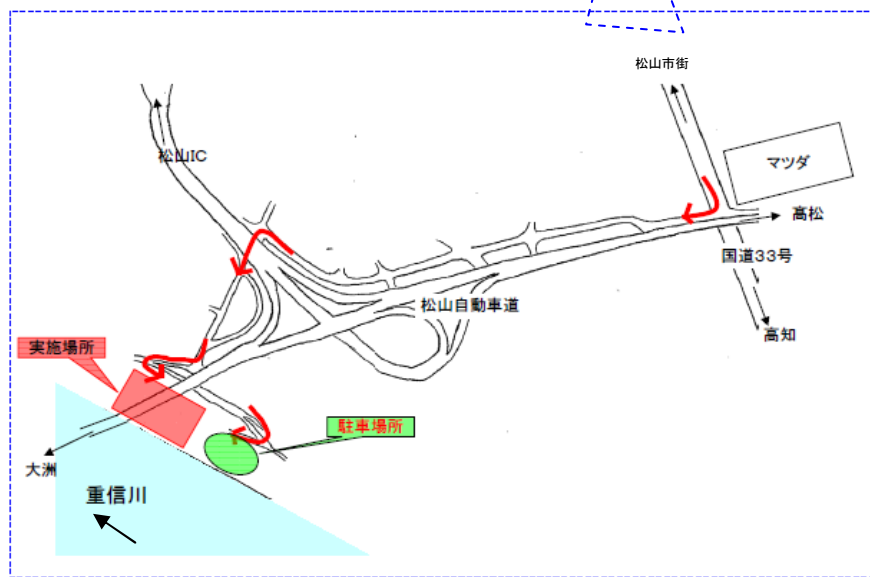
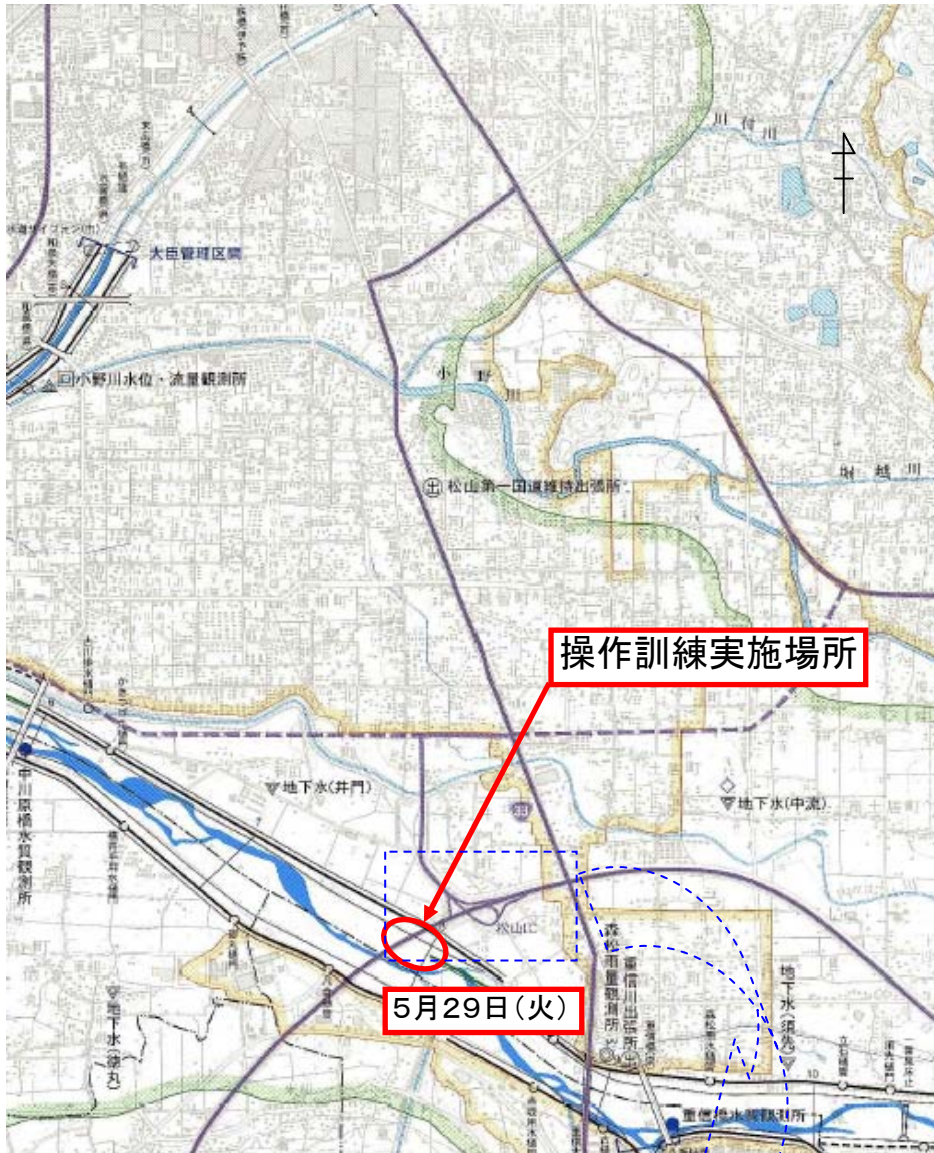
- | | |
|----------------|---------------------------------|
| ⑥衛星通信車 | 1台 (松山河川国道保有) |
| ⑦衛星小型画像伝送装置 | 4台 (松山河川国道、大洲河川国道、山鳥坂ダム、野村ダム保有) |
| ⑧災害対策機械の各種搭載機器 | 1式 |



写真－1 災害対策用機械の操作訓練実施状況 (平成23年度)

操作訓練実施場所

〈資料-1〉



対策本部車



対策本部車(拡張型)

機械概要

トラック車体を両サイドに拡張可能のように、改造した車両

使用目的

災害時における現地の対策本部、指揮、情報連絡広報活動の拠点

拡張型

■車体を両サイドに拡張することで現地での対策本部としてのスペースを提供

■**装備品** 会議机、椅子、TV、トイレ、簡易ベッド(2~8名分座席兼用)、通信設備等

■**四技** 松山 土佐

待機支援車



待機支援車(トラック型ベッド数8)

機械概要

トラック貨物室または、マイクロバス内部を人が待機・休憩できるように改造した車両

使用目的

災害現場での待機、休息、打合せ等

**バス型
ベッド数4**

■マイクロバスを改造した車両

■**装備品** TV、トイレ、簡易ベッド(4名分座席兼用)、通信設備等

■**徳島** 那賀川 四技 松山 土佐×2

**トラック型
ベッド数8**

■トラック車体を改造した車両

■**装備品** TV、簡易ベッド(8名分座席兼用)、通信設備等

■**大洲** 中村

標識車



標識車(LED昇降式)

機械概要

車体後部に大型LED表示板を搭載した車両

使用目的

災害時や現道工事での一般通行車両の誘導、情報提供、広報活動等

**標識車
自走式
LED昇降式**

■運転席の操作盤より、表示内容を容易に変更可能

■事務所からの遠隔操作でも表示内容を変更可能

■**徳島** 香川 松山 大洲 土佐 中村

衛星通信車



衛星通信車(トラック型)

機械概要

衛星経由により、映像を送る装置を搭載した車両

使用目的

災害現場の状況を画像伝送、電話により災害対策本部に伝える

RV型

■基本的には、トラック型と同じ

■RV車をベースとしており、スペースは狭いが悪路走破性に優れている

■**四技**

トラック型

■静止衛星を介して、各事務所等と通信が可能である

■テレビカメラの動画、上空のヘリコプターからの画像等を中継し送信可能

■**徳島** 四技 松山 土佐 中村

簡易遠隔操縦装置・バックホウ



遠隔操縦用受信機

遠隔操縦用送信機

バックホウ（遠隔操縦式）

機械概要 バックホウを遠隔操縦する機械

使用目的 2次災害の恐れのある災害箇所（土砂崩れ、岩盤崩落）での復旧作業

簡易遠隔操縦装置（バックホウ用）

- バックホウにラジコンロボットを装着するタイプ
- 装着時間はバックホウの規格に関わらず3時間程度
- 装置上部に設置したカメラにより、現場の状況をモニターしながら操作可能
- 遠隔操作可能距離は約150m 中村

バックホウ（遠隔操縦式）

- バックホウ自体を遠隔操縦可能にしたタイプ
- 通常のバックホウと同じく、搭載しての操縦も可能
- バケット容量: ①山積み0.46m³ ②山積み1.00m³ ① ② 伊賀 西條
- 遠隔操作可能距離は150m以上
- ②ブロック毎に分割可能で、災害現場において容易に分解組立が可能（空輸対応型）

照明車



照明車（2kW×6灯）

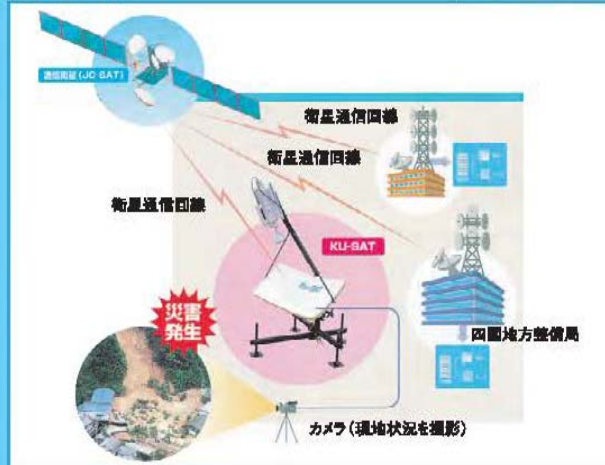
機械概要 トラックベースに照明装置と発電機を搭載した車両

使用目的 災害現場での夜間照明確保

- 2kW×4灯** ■照射高は最大10.1m 徳島 那賀川
 ■4灯中2灯は180°反転可能 高知 中村

- 2kW×6灯** ■照射高は最大20.3m 徳島×5 那賀川 西條×2 香川×2
 ■CCTVカメラによる画像撮影が可能 松山×3 大洲×3 土佐×3 中村×2 高知×2

衛星小型画像伝送装置（Ku-SAT）



機械概要 衛星経由により、カメラ画像を伝送する可搬式の装置

使用目的 災害現場の状況を画像伝送、電話により災害対策本部に伝える

- ライトバン程度の車両に搭載でき、人力設置が可能（小型・軽量）
- 画像伝送1回線、電話1回線が同時に使用可能

Ku-SAT

本島 徳島 那賀川 香川 伊予 高知
 松山 大洲 野村 山鳥坂
 土佐 高知 中村 大津 中筋川

災害対策用機械事務所別配置表

災害対策用機械名	規 格	配 置 事 務 所									
		徳島	那賀川	香川	松山	大洲	高知	中村	土佐	四技	計
排水ポンプ車	30m³/min、軽量水中ポンプ	3	1	2	2	3	3	2		1	17
	30m³/min、水力ポンプ	1				1	1				3
	30m³/min、水中ポンプ		1			1		1			3
	60m³/min、水中ポンプ	2					1	1			4
	150m³/min、水中ポンプ	1	1			1	1			1	5
照明車	2kW×4灯 10.1m	1	1				1	1			4
	2kW×6灯(ITV付) 20.3m	5	1	2	3	3	2	2	3	2	23
応急組立橋	トラス1車線 30m				1				1		2
	トラス2車線 40m			1							1
	トラス2車線 50m								1		1
衛星通信車	RV型									1	1
	トラック型	1			1			1	1	1	5
対策本部車	拡幅型				1				1	1	3
待機支援車	バス型 ベッド数4	1	1		1				2	1	6
	トラック型 ベッド数8					1		1			2
標識車	LED昇降式	1		1	1	1		1	1		6
橋梁点検車	バケット式									1	1
土のう造成機	自走式							1		1	2
簡易遠隔操縦装置	バックホウ用							1			1
バックホウ	後方超小旋回型 遠隔操縦式									1	1
	分解型 遠隔操縦式									1	1
小型クローラークレーン	自立分解仕様									1	1
	分解仕様									1	1
ヘリコプター	8人乗り					1					1
合 計 台 数											95台

平成24年3月31日現在